

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和2年度事業分)

1 施設の概要

<b>施設名</b>	山梨県御勅使南公園	<b>所管課</b>	県土整備部 都市計画課
<b>所在地</b>	南アルプス市六科1588-2	<b>設置年月日 (改築年月日等)</b>	昭和61年11月1日
<b>管理方式</b>	株式会社富士グリーンテック		
<b>設置根拠 (法律、条例等)</b>	都市公園法、山梨県都市公園条例		
<b>設置目的</b>	都市公園としての①～④の機能を発揮すること ①遊び、憩いの場を提供すること ②防災拠点としての機能を発揮していくこと ③良好な緑地景観、環境を提供すること ④スポーツの場を提供すること		
<b>主な施設内容 (定員等)</b>	○公園面積 35.4ha ○施設の内容 ・ラグビー場(34,000㎡、メイン・サブ2面) ・管理事務所(RC造平屋建、延床面積300㎡) ・遊具広場(25,000㎡) ・徒渉池(1,200㎡) ・疎林広場(4,280㎡) ・トリムコース(3,400㎡) ・その他(中央広場、緑地、園路広場、駐車場、駐輪場)		
<b>主な業務内容</b>	(1)公園施設及び設置器具等の維持保全 (2)有料施設の利用承認 (3)県が実施する大会等への協力		

2 類似施設・近隣施設

<b>名称 施設内容 利用状況等</b>	笛吹川フルーツ公園
------------------------------	-----------

## 3 利用状況

単位:人、%

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (目標値)
利用者数	公園利用者数	287,012	307,814	289,280	292,000
	(うち有料施設利用者)	(18,154)	(18,850)	(9,655)	(10,500)
	利用者数合計	287,012	307,814	289,280	292,000
	目標値	290,000	295,000	312,000	292,000
	目標値設定の考え方及びその理由	施設改修工事の影響による利用者減を見込んだ昨年度実績	前年度実績×103%	新型コロナウイルス感染症の終息が見込めないため昨年度実績×101%	新型コロナウイルス感染症の終息が見込めないため昨年度実績×101%
	対平成30年度比		107.2%	100.8%	101.7%
利用率	786人/日	843人/日	792人/日	789人/日	

## 4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		令和元年度 (実績値)	令和2年度 (計画値)	令和2年度 (実績値)	令和3年度 (計画値)
収入	施設利用料	825,000	770,000	506,520	800,000
	指定管理者委託料	79,872,000	81,863,000	81,863,000	80,495,000
	その他	1,488,547	1,600,000	1,412,554	1,557,000
	収入合計(A)	82,185,547	84,233,000	83,782,074	82,852,000
支出	人件費	25,377,490	25,564,000	25,474,720	25,564,000
	県への納付金				
	管理運営費	56,395,599	58,669,000	58,136,787	57,288,000
	うち外部委託費(B)	25,946,206	24,000,000	24,434,924	25,000,000
	支出合計(C)	81,773,089	84,233,000	83,611,507	82,852,000
収支差額(A-C)		412,458		170,567	
外部委託比率(B÷C)		31.7%	28.5%	29.2%	30.2%
利用者一人当たりの経費		259.5	262.4	283.0	275.7

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期:令和2年4月～令和3年3月末 実施方法:公園利用者へのアンケート 回答数:406人
-------	--

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
花や木々について	80.8%	19.0%	0.2%	
トイレや休憩所について	71.7%	25.0%	3.3%	
芝生・園路・広場について	82.4%	17.6%		
園内情報・案内板について	75.1%	24.6%	0.3%	
園内の安全・防犯について	79.8%	19.9%	0.3%	
公園スタッフの対応について	84.1%	14.9%	1.0%	
施設全般の満足度	85.0%	14.7%	0.3%	

利用者の意見	<p>【公園施設に関するもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・徒渉池がきれいに整備され楽しく遊べる。</li> <li>・ベンチ、テーブルに日影がほしい。</li> <li>・左岸側にトイレがほしい。</li> <li>・駐車場がもっと広いと便利。臨時駐車場がわかりづらい。</li> </ul>
利用者の意見への対応	<p>【公園施設に関するもの】</p> <p>長期計画や修繕要望に順じた施設改修が進み、休憩施設の充実が図られており以前に比べて休憩施設の評価が高まった。日よけを目的とした簡易テントの設置を認めるエリアを設け、要望への対応をしている。左岸側の利用については仮設トイレの設置や臨時駐車場の確保などを近隣施設と協議しており、アクセスとハードの整備を進めている最中である。右岸側の河川敷エリアにある臨時駐車場の入退場を安全かつ分かりやすくするため、新たなルート(河川敷から第4駐車場へぬける車道)を整備するなど、利便性の向上に努めている。</p>

## 6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>開園前の早朝から閉園時まで職員による巡回を行い、情報の収集、異常の早期発見と速やかな対応を実施して安全で清潔な利用環境を維持することができた。</p> <p>緑地管理及び施設管理は本業を生かした直営主体の管理を基本に、緑地や施設の機能を十分発揮させる順応的な作業を行い、天然芝グラウンドや園内緑地について利用者から良い評価を得ている。</p> <p>園内の緑地や景観は、子供たちの環境教育や市民協働の場として活用できるよう適切に管理を行っていききたい。</p>	<p>施設の不具合等の早期発見、修繕により適切な維持管理業務を遂行している。</p> <p>緑地・施設管理は直営でも対応することで迅速な対応に繋がっている。</p> <p>今後も適切な維持管理を行い、地域住民と良好な関係を構築するとともに快適な環境を提供に努めること。</p>
運営業務	<p>利用者から寄せられる意見や要望は、毎月行われる全職員参加の企画会議で共有し、今後の取り組み内容を掲示板に張り出す運営の『見える化』を行っている。</p> <p>本部の運営サポートとして、イベントなどで人員が必要な際は応援職員を適宜派遣し、安全対策をはじめ円滑な運営を可能にしている。</p> <p>施設有効利用の取組みとして、河川敷芝生広場におけるスポーツ団体の占用利用を試験的に認め、有料施設の混雑緩和と河川エリアの有効利用について効果が認められている。周辺自治体との連携を強化し様々な催しを誘致していききたい。</p>	<p>各エリアの有効活用に向けて利用者からの要望を反映し、満足度が高めるための工夫をしている。</p> <p>今後も適切な運営業務を行い、利用者の満足度向上に向けた環境づくりや、地元自治体と協働して地域の核となる公園づくりに努めること。</p>
利用状況	<p>緊急事態宣言が発出された期間は有料施設の閉鎖や外出自粛により利用者は大幅に減少したが、夏以降は一般利用を中心に来園者数が回復し、日によっては昨年以上に賑わう様子もみられた。感染防止のルールやマナーを守って利用してもらえよう、注意書きの掲示や巡回時の指導に力を入れている。</p> <p>有料施設では、応援者の入場制限など感染防止対策を講じながらの利用が求められており、利用者は昨年の半数となったが、ガイドラインに基づいた利用を徹底し安全な利用環境を提供していききたい。</p>	<p>地元自治体へのPRやSNSでの情報発信により、公園利用者の増加に努めたため、コロナ禍においても一定の利用者を確保することが出来ている。</p> <p>今後はコロナ禍における公園の活用方法が見直されている中で、SNSやチラシ等で公園の情報発信をより積極的に行い、さらなる利用者数確保に向けて努めること。</p> <p>利用者へ感染拡大防止を呼びかけつつ、安心安全な環境の提供に努めること。</p>

<p><b>収支状況</b></p>	<p>新型コロナウイルスの影響で有料施設の利用機会が減少し、自主事業収入からの補填も十分に行えなかったことから収入は計画値を下回った。</p> <p>支出については、園内各所で見通しを確保する下枝剪定及び低木類の強剪定を利用者が少ない時期に合わせて集中的に行ったため、費用が増加したが、大規模イベントの中止や浄化槽清掃回数の減少などで例年に比べ費用が抑えられた項目もあり、総額では計画を下回った。</p> <p>大きな自然災害も発生しなかったことから、計画の範囲内で予算管理ができた。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響により、有料施設利用者減少やイベントの中止で収入が減少したが、経費の削減が可能である箇所は削減に努めていた。</p> <p>今後も計画的な収支管理に努めること。</p>
<p><b>自主事業</b></p>	<p>5月に開催予定であったハーブフェスタは感染拡大を防止するため中止とした。大規模な集客イベントが行えない状況であったが、ハーブ教室やどんぐり教室など、以前から継続しているイベントは、人数を制限するなど感染症対策を万全にしたうえで開催し、参加者から一定の評価を得られた。</p> <p>収益事業については管理棟の売店など、減収となったが、移動売店は出店機会が増し、この部門のみ昨年よりも2.5倍の増収となった。新たな出店の問い合わせもあることから、出店機会を更に増やし、サービス向上と増収を目指していきたい。</p>	<p>コロナ対策を行ったイベントの開催や移動売店の出店等により、利用者の増加や利便性の向上につながる自主事業を行っている。</p> <p>今後も感染症拡大防止に取組みつつコロナ禍における利用者のニーズを把握し、満足度を高めるよう努めること。</p>
<p><b>利用者満足度</b></p>	<p>イベント、一般利用、有料施設利用など様々な目的で訪れる利用者から偏りのないアンケート調査を実施した。園内では施設改修が継続して行われておりリニューアルした施設に対する満足度が向上している。スタッフの対応や各施設の評価など運営や利用環境のほとんどの項目について、95%以上の満足度を得ている。</p>	<p>適切な運営管理により利用者から高い満足度を得られている。</p> <p>コロナ禍でも安全・安心に利用できる取り組みを実施しつつ、アンケート調査等により利用者のニーズを把握し、満足度を高めるよう努めること。</p>

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>運営目標の指標  ①来園者数  目標値 312,000人 → 実績値 289,280人  ②来園者数のうち有料公園施設利用者数  目標値 18,000人 → 実績値 9,655人</p> <p>新型コロナウイルスの感染防止対策として5月末まで有料施設や徒渉池を閉鎖。外出自粛や集客が見込まれる大規模イベントの中止により利用者数は目標に届かず事業収入も減少した。夏以降は公園や屋外施設の利用ルールが周知徹底され個人利用や有料施設利用が回復したものの、人数制限などの対策で大会やイベントの規模が縮小されており、翌年以降も集客に影響が懸念される。感染防止ルールの徹底と対策を施したイベントの開催をホームページやパンフレット、市の広報に記載し安全に利用できる環境を提供しながら利用者の回復に努めた。また、河川エリアの価値を高める取り組みとして、パークゴルフコースの計画を策定した。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により大会やイベントが中止となったため、利用者数は目標値に達しなかったが、利用者から高い満足度を得られていることから、適切な管理運営を実施していることが伺える。  コロナ禍における公園の活用方法が見直されている中で、SNSやチラシ等で公園の情報発信をより積極的に行い、安心・安全に利用できる公園としてさらなる利用者の確保や満足度向上に向けて努めること。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>園内や各施設で感染拡大防止対策を実施し、ホームページやSNSにより情報発信を行ったことで、利用者が安心して来園ができ、安全に利用できる環境づくりに努めた。  また、保育園や小学校の遠足で園内を利用する場合は、利用者から感染防止対策について書面で提出を求め、安全対策の徹底を行った。</p>

7 管理体制(組織図)

令和2年4月1日現在

